

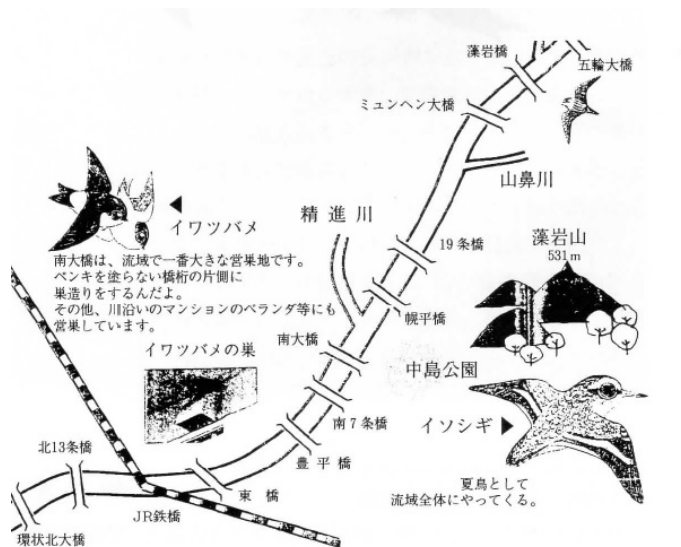
私の探鳥地 (41) (野鳥だより 126号 2001年 12月)

豊平川 (ミュンヘン大橋から JR 苗穂鉄橋まで)

戸津 高穂

私はミュンヘン大橋から JR 苗穂鉄橋までの豊平川を毎月 2 回、ウオッチングをして、楽しんでいきます。

自転車で豊平川右岸のサイクリングロードを走り、ここで観察した鳥を記録しています。現在、この観察を始めて、12 年目に入りました。これまでに 2 回、「野鳥だより」にも報告しています。



ミュンヘン大橋から JR 苗穂鉄橋まで

平成 2 年の 6 月に、このバードウオッチングを始めたのですが、私なりに新しい発見や、野鳥の生活の変化など、考えさせられる問題が次々として出てきて、現在も観察を継続中です。

特別、めずらしい鳥が現れる場所ではないのですが、春には、ヒバリ、イソシギ、イワツバメ、アオジなどが元気な姿を川原に見せてくれます。

イワツバメは、以前よりかなり数が減った感じですが、毎年、南 9 条橋の橋げたに巣づくりをし、子育てをしています。イソシギは豊平川に来ると、さわがしく鳴きながら水面を飛びまわります。これまで、これほどにぎやかな鳥だとは知りませんでした。繁殖期の行動ですなー。

冬には、札幌市の中心部を流れる豊平川にカワアイサが出現するとは、この観察を始めるまで、思ってもいませんでした。

今年の夏、(8月 2 日) 豊頃町の十勝川で、50 羽程のカワアイサを見ました。十勝川では繁殖しているのでしょうか。

同じく冬には、ツグミ、シロカモメ、ホオジロガモなどが、時々姿を見せてくれます。

また、春と秋の渡りの時期には、コヨシキリ、メボソムシクイ、ベニマシコ、ダイサギなどがこの豊平川を通過して行きます。オジロワシも毎年ミュンヘン大橋から 2 月頃、この地域に出現します。

最近、特徴的なのは、平成 7 年に始めてここに現れたオオセグロカモメが、その後、だんだん数が増えてきて、ここ数年は、ほぼ 1 年中、相当数が、私の観察している豊平川に飛んでくることです。

サケの稚魚やホツチヤレ、また豊平川に多く見られるウグイやフクドジョウなどを食べにくるのでしょうか。

年中豊平川にいるマガモと多くなってきたオオセグロカモメとの関係はどうなのだろうなどと考えてしまいます。

これまでに、ここで確認した鳥の合計は 57 種類になりました。機会があれば、「野鳥だより」に、その後の記録を含めて報告したいと思っています。当分、この豊平川ウォッチングは続けることになりそうです。